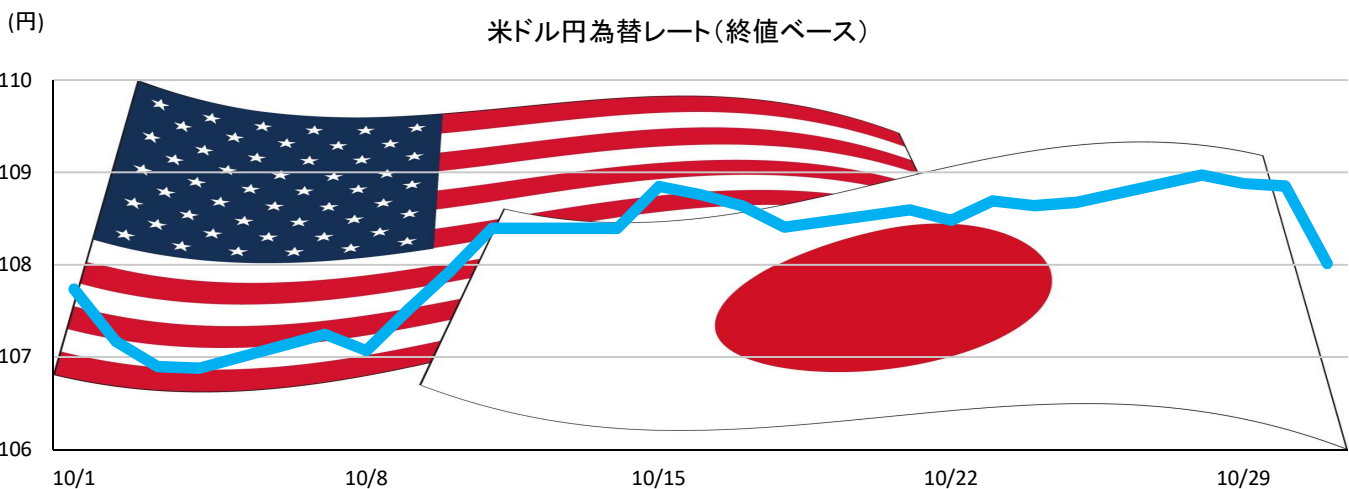


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 10月のドル円相場は106円半ば～109円前半で推移。経済指標内容は芳しくなかったが、米中貿易協議への期待感から、米株式市場が堅調に推移。ドル円は一時107円割れとなったが、堅調な株高に追随する形でドル円も底堅く推移し、米中閣僚級協議で部分合意したことで108円台を回復した。その後、各国経済指標の悪化というリスク回避の動き、マーケットの関心が英国EU離脱問題となったことや重要指標発表を控えていたことで、ドル円はしばらく大きな動きとはならなかった。月末のFOMCでの利下げ打ち止め観測もあり109円台を回復したものの、日銀が追加緩和を見送ったことで日米金融政策格差が意識され、108円を割る場面がありドル高基調が一旦落ち着いた。



## EXTRA VISION

**今後の展開:** 米雇用統計が市場予想を上回ったことでドル売りは長続きせず、NYダウも史上最高値を更新する動きに付随する形でドル買いとなっているが、背景には米中合意楽観論が主な要因となっており、協議内容に関する報道で一進一退の動き。中でも段階的な関税撤廃で合意と一報が入るとドル円は109円台を回復しており、リスク選好の動きに変わりはない。ただ、世界経済の先行き不透明感は依然としてくすぶっており、今後の経済指標等でリスク回避の流れとなる恐れもある。短期の情報に振り回されることなく、ポジションを構築しておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
11 / 27 (水)	22 : 30	US	GDP改定値	☆☆☆☆
12 / 5 (木)	19 : 00	EU	GDP確定値	☆☆☆☆
12 / 6 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
12 / 12 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
12 / 12 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
12 / 19 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
12 / 19 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆